

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

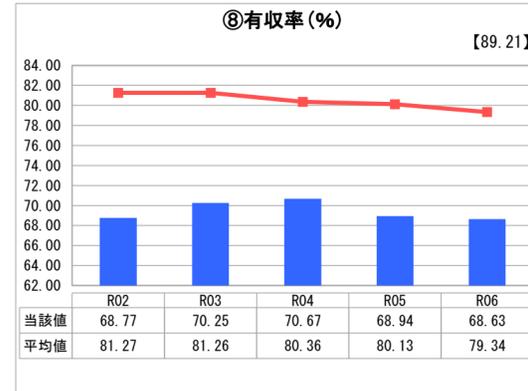
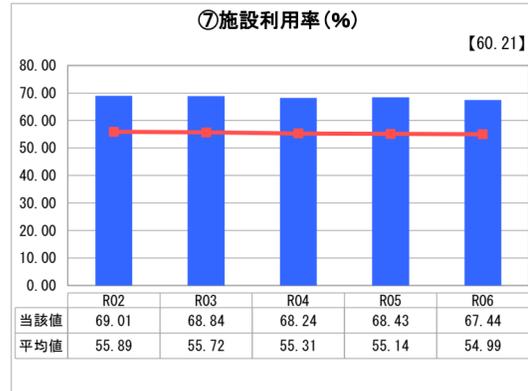
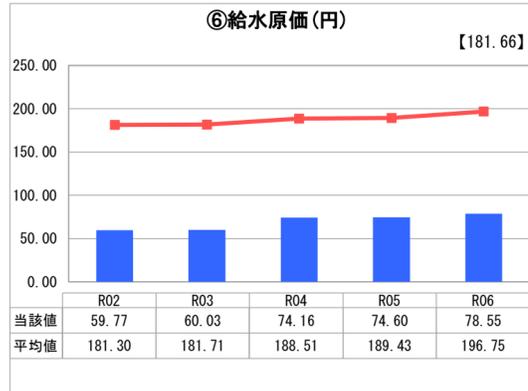
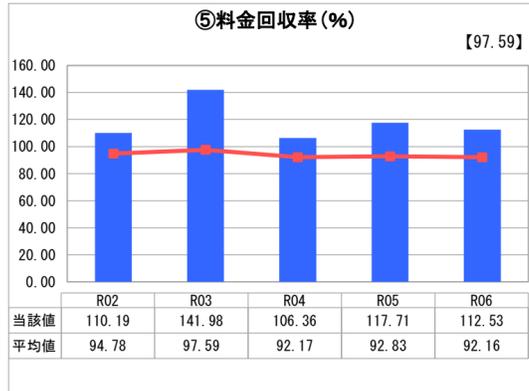
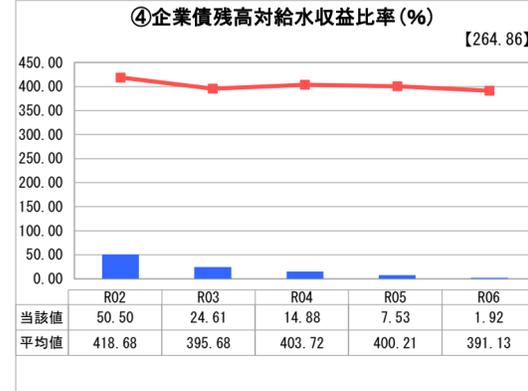
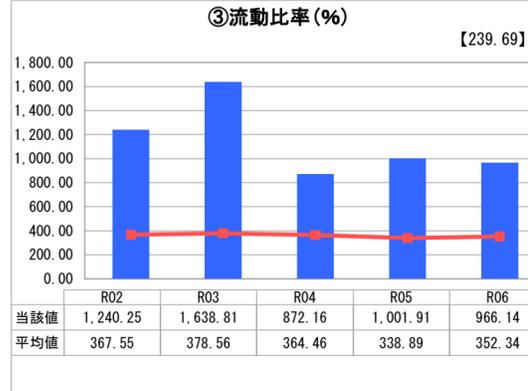
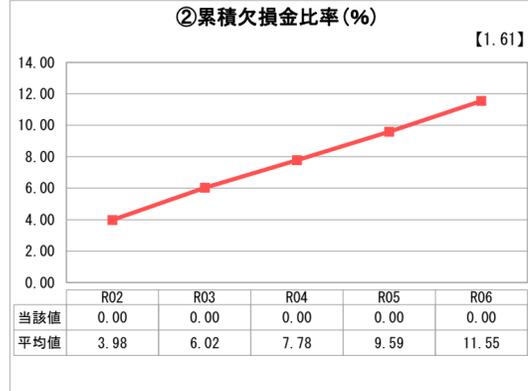
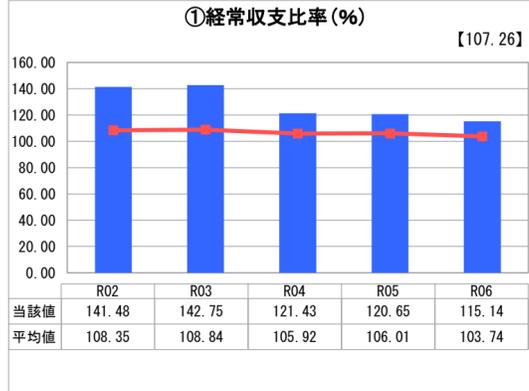
岐阜県 北方町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	96.43	95.83	1,727	

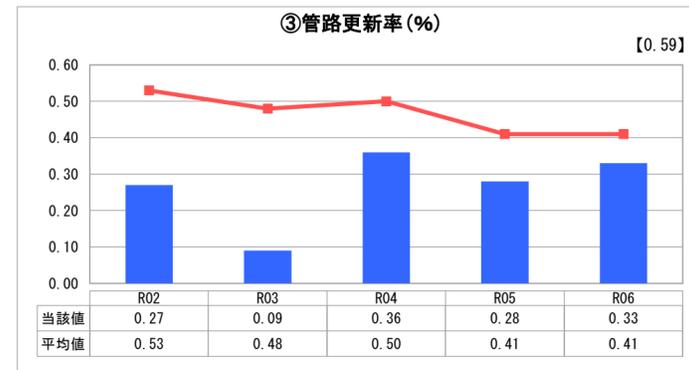
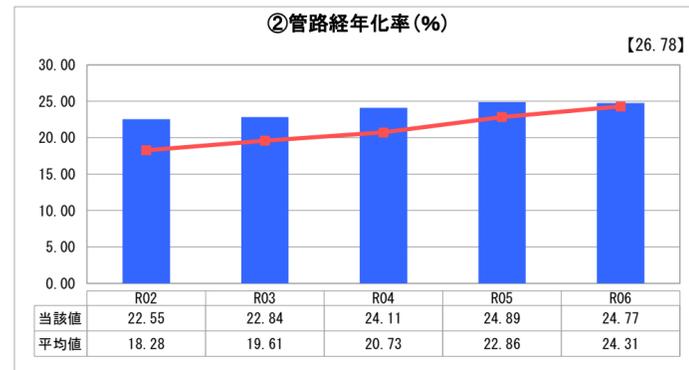
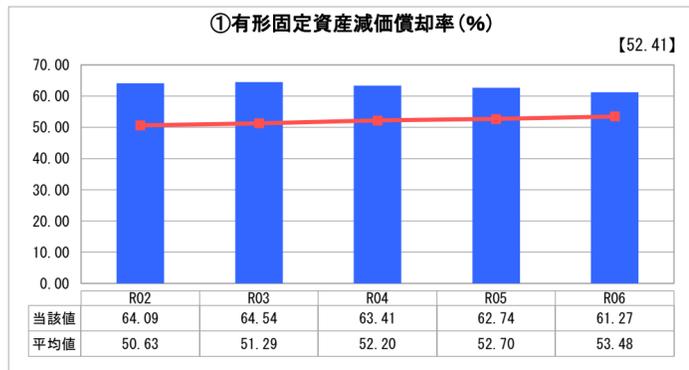
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,568	5.18	3,584.56
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
17,720	5.17	3,427.47

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

水源として地下水を使用しているため、全国平均と比較して、給水原価は低く抑えられているが、給水人口の減少に伴う有収水量の減少や、近年の物価高等による経費の増加により、前年より上昇している。

料金回収率は、給水原価の増加により、前年度と比較すると減少している。

企業債は新たな借入れがなく、間もなく償還を終えるため、企業債残高対給水収益比率は全国平均を大きく下回っているが、今後施設の耐震化等で、新たに借入をしながら、大規模な更新を進めていく予定である。

経営の健全性について、現在はまだ収支は黒字であるが、更新投資等に充てる財源の確保のために、令和7年度に料金改定を実施し、経営基盤を強化する。

### 2. 老朽化の状況について

本町の水源地は、昭和50年の供用開始から50年近く経過し、老朽化が進んでいる。全面改築には莫大な経費がかかるため、部分的な修繕や設備の更新によって、長寿命化を図っている。

管路については、基幹管路の耐震化を優先的に進めているが、近年の物価高等の影響もあって、進捗が遅れており、耐震化は全体の13.0%程度に留まっている。また、管路経年率は年々上昇しており、老朽化が進んでいる。有収率は漏水調査等を実施したことにより年々改善していたが、昨年より減少傾向に転じており、早急な更新が望まれる。

こうした状況の改善の為に、料金改定を実施し、更新費用の確保に努める。

### 全体総括

現在の経営状況はまだ、収支が黒字で、概ね健全と思われるが、有収水量が減少傾向になり、今後人口減少に伴い、収益も減少する見込みである。一方で、施設の老朽化に伴い更新需要が増加することで多額の費用が必要とされることから、更新投資等に充てる財源の確保のために、令和7年度に料金改定を実施する。

今後も経営環境はさらに厳しさを増すことが予想されるため、中長期的な経営の基本となる計画を立て、経営の効率化、健全化に取り組む。